



パトリック・J・リネハン総領事(左)と握手する小林凜さん(大阪市長)

俳句が結ぶ 日米の心

小林凜さん、米総領事と面談

昨年出した句集「ランドセル俳人の五・七・五」(ブックマン社)で小学生俳人として注目を集めた小林凜さん(13)は大阪府を、駐大阪・神戸米国総領事のパトリック・J・リネハンさんに招いた。俳句を支えに始めと向き合う姿に感銘を受けたという。

凜さんはいじめに悩まされ、学校に行けなかった時も俳句を作り続けた。リネハン総領事は自分も高校の頃いじめに遭ったと明かし「会えてうれしい」。

凜さんの強さ、力を感じると語った。

「作品の中に、私に合う俳句があったら教えてほしい」と総領事に問われ、凜さんは「冬の薔薇立ち向かうこと恐れずに」という句を挙げた。厳しい寒さのなかで咲く花の姿に、逆境に負けまいとする気持ちを重ねた句。総領事は「外交官にもぴったりの句だ。覚えたい」と喜んだ。

この春中学に進んだ凜さん。「いつか外国の文化にも触れてみたい」と目を輝かせ、別れのあいさつは練習してきた英語で交わした。8月に新しい句集が出る。(柏崎 歎)